

特別養護老人ホーム「歌代の里」 新設移転計画について

両津病院

歌代の里

すこやか両津

0 0.0075 0.015 0.025 0.03 km
0 0.0125 0.025 0.05 km
1:1,000

日時：令和3年12月5日（日） 13時30分～

会場：あいぽーと佐渡 多目的ホール

特別養護老人ホーム「歌代の里」について

- 特別養護老人ホーム「歌代の里」は昭和55年に開設され、「すこやか両津」「両津病院」、両津福祉センター「しゃくなげ」とともに、両津地区の医療・保健・介護・福祉の中心的役割を担ってきました。
- 「両津病院」「歌代の里」「すこやか両津」の3施設は、医療と介護の連携により、利用者とその家族の利便性が図られています。が、病院が移転した場合は、電気や熱源等を共同利用しているため、独自の熱源確保が必要です。
- 全国的にも設置主体が市町村である割合は、介護老人福祉施設が3.4%、介護老人保健施設が3.8%(介護サービス施設事業所調査)となっており、平成12年4月からの介護保険制度創設や市のアウトソーシング計画及び公共施設等総合管理計画の趣旨からも、「民間ができることは民間に」を基本に、民間活力を活かした施設整備を検討しています。

佐渡市の現状

○佐渡市では高齢化が進み、65歳以上人口が占める割合が令和3年4月現在41.9%まで達しています。

○佐渡市では65歳以上の高齢者は減少傾向にありますが、一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の割合は増加しており、今後ますます認知症対策や高齢者を介護する施設の確保が必要です。

○両津地区の高齢者数は市内高齢者人口の約4分の1を占めており、現行の介護サービス水準を維持するためには両津地区において今と同規模の特別養護老人ホームの存続は必要です。

両津地区市営施設の在り方検討会について

○設置の目的

両津地区市営介護施設「特別養護老人ホーム歌代の里」及び「介護老人保健施設すこやか両津」に関し、佐渡市立両津病院の移転新築に伴い佐渡市立両津病院に併設されている市営介護施設の在り方について、検討することを目的に開催しました。

○平成29年8月、『両津地区市営施設の在り方検討会報告書』策定

本報告書は、平成28年12月から外部委員を含めた「両津地区市営介護施設の在り方検討会」において、「歌代の里」と「すこやか両津」の将来に向けた「運営形態の在り方」、「施設の形態」、「併設サービスの在り方」、「両津病院との医療連携」、「今後の方向性」などの基本的な事項を、平成29年8月まで計6回にわたり検討し、その結果をまとめ策定したものです。

【施設概要】

施設名	特別養護老人ホーム 歌代の里	
設置経営主体	佐渡市	
事業開始年月日	昭和55年10月1日(施設入所70名定員で開所)	
定員	介護老人福祉施設 105人、短期入所生活介護 7人	
土地・建物等	敷地面積	2,923.3平方メートル
	建物	鉄筋コンクリート 3階建、延3,183.8平方メートル
	居室	4人部屋 24室、3人部屋 2室、2人部屋 3室、1人部屋 4室
建設事業費	昭和54年7月起工 366,777千円	
	平成2年増床 317,343千円(施設40床、短期5床)	

市内（県内）における介護老人福祉施設の現状と運営形態について

1 市内の介護老人福祉施設の現状について

市内には、介護老人福祉施設が7施設、地域密着型介護老人福祉施設が6施設の合計13施設あり、この内多床室は5施設、ユニット型施設は8施設となっています。

2 新潟県内の介護老人福祉施設の運営形態について

新潟県内には、介護老人福祉施設が322施設あり、うち3施設が直営（そのうち2施設は指定管理）、2施設が組合運営、その他の施設は法人運営となっています。

種類	社会福祉法人	市	一部事務組合	計
介護老人福祉施設	317施設	3施設 ※1	2施設 ※2	322施設

※1 3施設は、指定管理（新潟市から愛宕福祉会、魚沼市から魚沼福祉会）と佐渡市

※2 2施設は、さくら福祉保健事務組合と魚沼地域特別養護老人ホーム組合

介護老人福祉施設「歌代の里」の課題について

- ① 「歌代の里」は、施設建設から40年が経過し、毎年施設の修繕や附帯設備の入れ替えが必要です。
- ② エネルギー源が「両津病院」の地下に設置されているため、津波や洪水等で水没すると使用できなくなることから、大規模な改修工事が必要です。
- ③ 建物本体は、耐震構造となっていないため、耐震補強工事が必要です。

介護老人福祉施設「歌代の里」の将来構想について

(1) 運営形態の在り方について

サービス水準の維持・向上及び費用対効果を十分に検討し、民間の高度な専門知識・経営資源等の積極的活用が図る為、民間移譲を進める。

(2) 施設の形態について

ユニット型(個室)、多床室のバランスを考えながら施設を整備する。

(3) 両津病院との関係について

病状の急変時に迅速な対応ができ、医療依存度の高い利用者の受入れが可能であり、「看取り」等に積極的に取り組むことができるメリットがある。

(4) 今後の「歌代の里」の方向性(今後の展望)

将来的にも両津地区に「歌代の里」と同規模の介護老人福祉施設が必要。
「両津病院」の建設を期に市が運営する「歌代の里」を廃止し、民間による新たな介護老人福祉施設を整備する。

◆「歌代の里」新設移転に伴う事業者公募

○サービスの種類及び定員数

介護老人福祉施設	105床(多床室を50%~60%の範囲で整備)
短期入所サービス	7床~20床程度

○建設予定地

旧両津文化会館駐車場跡地(佐渡市梅津地内)

○選定方法

サービスの適正な運営を担保することを目的とし、公正性・公平性を確保する観点から、整備事業者を公募し、高齢者等福祉保健審議会において、書類審査及びヒアリング(プレゼンテーション形式)により選定

◆建設予定地：旧両津文化会館駐車場跡地



◆利用者負担額の比較について(第3段階①)

(例) 市民税非課税世帯で、合計所得金額＋年金収入が80万円を超え120万円以下の方で、預貯金等の合計が単身550万円、夫婦1,550万円以下の方

【歌代の里 現行】

(単位:円)

要介護度	基本額	日常生活継続支援加算	看護体制加算	夜勤職員配置加算	計	居住費	食費	1か月の負担額
要介護1	5,730	360	120	160	6,370	370	650	49,710
要介護2	6,410	360	120	160	7,050	370	650	51,750
要介護3	7,120	360	120	160	7,760	370	650	53,880
要介護4	7,800	360	120	160	8,440	370	650	55,920
要介護5	8,470	360	120	160	9,110	370	650	57,930

○ 民間法人の標準的な利用者負担額

【①多床室】

(単位:円)

要介護度	基本額	日常生活継続支援加算	看護体制加算	夜勤職員配置加算	職員処遇改善加算	計	居住費	食費	1か月の負担額
要介護1	5,730	360	120	160	700	7,070	370	650	51,810
要介護2	6,410	360	120	160	775	7,825	370	650	54,075
要介護3	7,120	360	120	160	853	8,613	370	650	56,439
要介護4	7,800	360	120	160	928	9,368	370	650	58,704
要介護5	8,470	360	120	160	1,002	10,112	370	650	60,936

※ 職員処遇加算とは、介護職員の安定的な処遇改善を図るための環境整備とともに、介護職員の賃金改善に充てることを目的に創設された加算です。

○ 民間法人の標準的な利用者負担額

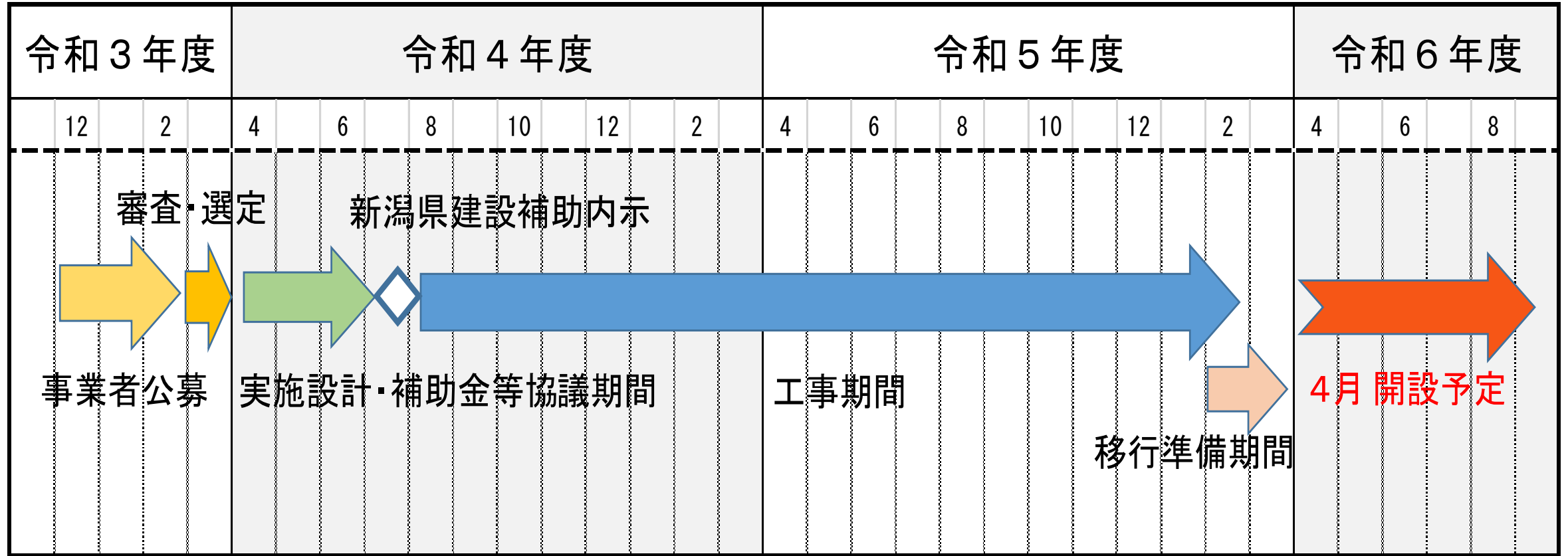
【②ユニット型個室】

(単位:円)

要介護度	基本額	日常生活継続支援加算	看護体制加算	夜勤職員配置加算	職員処遇改善加算	計	居住費	食費	1か月の負担額
要介護1	6,520	360	120	160	787	7,947	1,310	650	82,641
要介護2	7,200	360	120	160	862	8,702	1,310	650	84,906
要介護3	7,930	360	120	160	942	9,512	1,310	650	87,336
要介護4	8,620	360	120	160	1,018	10,278	1,310	650	89,634
要介護5	9,290	360	120	160	1,092	11,022	1,310	650	91,866

※ ユニット型個室とは一室を一人の利用者が利用し、居室数室を単位とし、ロビー、ダイニング、キッチン、バス、トイレ等を共有します。

◆新設移転のスケジュール



◆特別養護老人ホーム新設移転に伴う財源比較

施設整備規模(仮定)

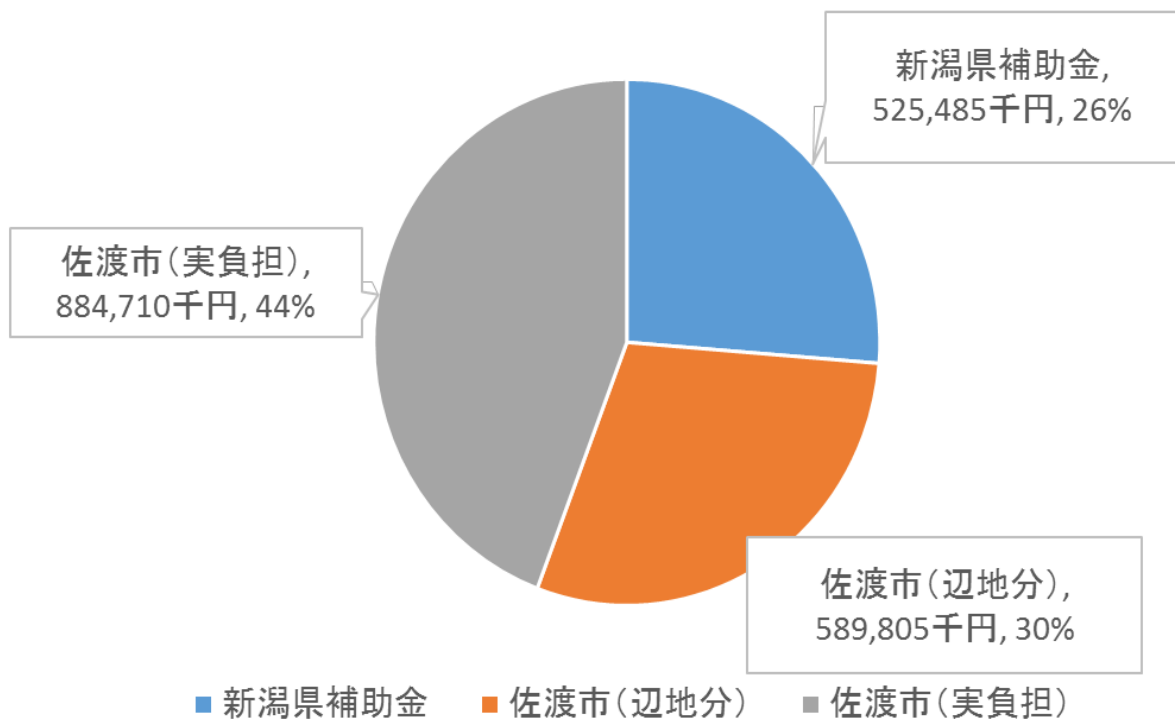
総事業費(施設整備、備品等含)

特別養護老人ホーム 105床 短期入所 10床

20億円

①市直営施設整備

施設整備負担割合(直営)
総事業費 2,000,000千円



②民間法人施設整備

施設整備負担割合(民設)
総事業費 2,000,000千円

